

淡水化装置（RO-3）蛇腹ハウス内での RO膜洗浄用タンクからの堰内漏えいについて

2018年2月1日



東京電力ホールディングス株式会社

■ 概要

- 平成30年1月19日、淡水化装置（RO-3）のRO膜洗浄用タンク（CIPタンク）からのオーバーフローによる漏えいを確認。
- 漏えい水は蛇腹ハウス内の堰内に留まっており、ハウス外への流出はない。漏えい範囲は15m×10m×1mm（約150L）。
- 漏えいの原因についてはRO-3起動時にRO膜洗浄システムのドレン弁（CIPドレン弁）が開となっていたため。

■ 時系列

【1月18日】

13:10 RO-3「運転」

【1月19日】

8:28 「RO設備 漏えい監視装置 異常」警報発生

8:50 CIPタンク上部より漏水確認

8:50 RO3現場にて「停止」

9:04 漏えい停止確認

9:10 漏えい範囲 堰内 15m×10m×1mm（縦×横×深さ）

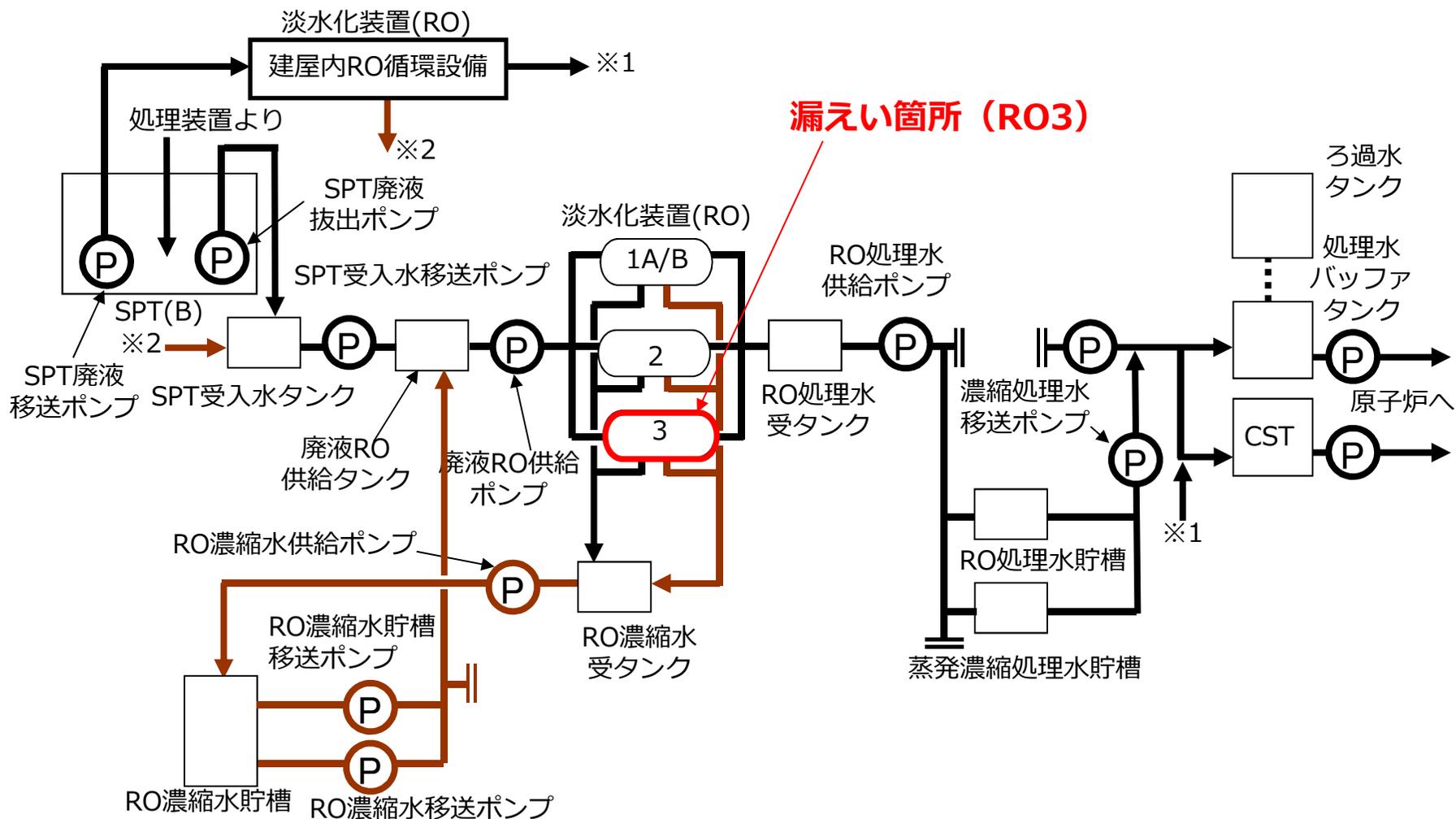
漏えい量 約150L

漏えい水分析結果

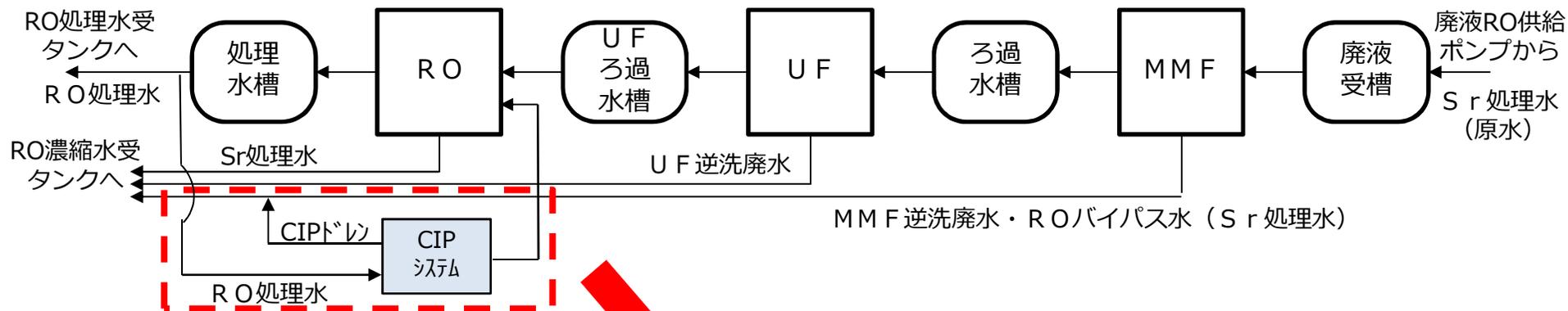
Cs134:3.2×10²Bq/L Cs137:2.7×10³Bq/L 全β:3.1×10⁴Bq/L

13:20 漏えい水の回収完了

淡水化装置の概略系統図

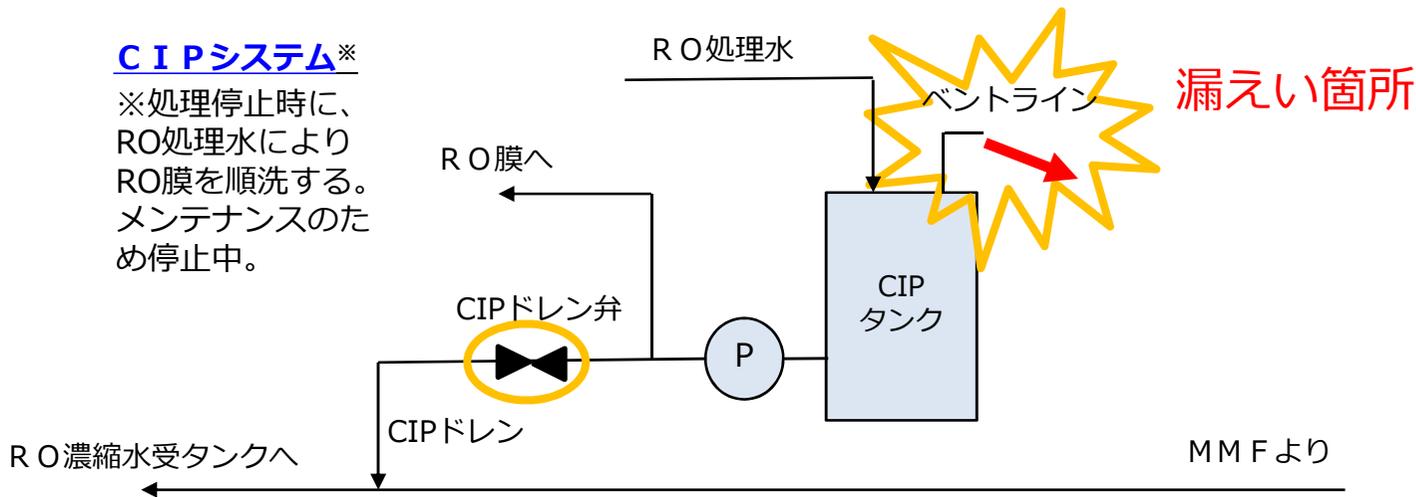


淡水化装置（RO-3）漏えい箇所



CIPシステム※

※処理停止時に、RO処理水によりRO膜を順洗する。メンテナンスのため停止中。



- ・ C I P ドレン弁が開となっていたため、RO3運転によりCIPタンクへSr処理水が流入し、オーバーフローした。

現場状況 (CIPタンク)



CIPタンク



漏えい箇所

■漏えい事象の原因

- ・CIPドレン弁交換後のリークチェックのため当該弁を開としたが、閉操作せずにRO3を起動したため。
- ・今後、再発防止対策を検討する。